

介護現場をよくする21のテーマ！

ACGs2023



■第2回：環境整備

選ばれる法人・サービスをつくるために
「個別ケア」と「事業所運営」と「法人経営」を一体で考える

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社
代表取締役 榊原 宏昌

ご受講にあたって

■第1部 10:00～11:30

zoomセミナー（参加者の**お名前やお顔は出ません**）

ご意見/ご感想/ご質問（チャット）に対し**リアルタイム**に回答

※「**すべてのパネリスト**」宛にチャットをお願いします

■第2部 11:30～12:00

希望者による口頭でのご質問・ご相談

参加者の**お名前やお顔は出ます**（ビデオOFFは可能）

■セミナー後、「**資料**」と「**動画**」を送付します

※**法人内のみ**のご活用にとどめて下さい

■これまでのセミナー動画+資料は**一般販売**も行っています

講師プロフィール

昭和52年、愛知県生まれ 介護福祉士、介護支援専門員

京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務
社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、
有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の仕事に携わる
15年間の現場経験を経て、平成27年4月「介護現場をよくする研究・活動」を目的として独立



著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間300回を超える

4児の父、趣味はクラシック音楽

ブログ、facebookはほぼ毎日更新中、日刊・週刊のメールマガジンを配信

Zoomセミナー、動画講座、YouTubeでも配信中、13年目になる「介護の読書会」主催

天晴れ介護サービス総合教育研究所 <https://www.appare-kaigo.com/> 「天晴れ介護」で検索

- HMS介護事業コンサルタント ■C-M-A-S介護事業経営研究会スペシャリスト
- 全国有料老人ホーム協会 研修委員 ■日本福祉大学 社会福祉総合研修センター 兼任講師
- 稲沢市介護保険事業計画策定委員会、地域包括支援センター運営協議会、地域密着型サービス運営委員会委員
- 出版実績：日総研出版、中央法規出版、ナツメ社、メディカ出版、その他多数
- 平成20年第21回GEヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞
- 榊原宏昌メールアドレス sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

3

介護現場をよくする研究・活動



➢facebook、ブログ等を毎日更新、情報発信

➢天晴れ介護サービス総合教育研究所YouTubeチャンネル 週1～2回動画配信

➢メルマガ（日刊：介護の名言、週刊：介護現場をよくする研究&活動通信）

➢以上の情報はHP（「天晴れ介護」で検索）よりどうぞ

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

4

介護現場をよくする研究・活動

■よい介護職はいても、よい介護現場はなかなかない……

- ・ 1人1人がよくなるだけでは、うまくいかない
- ・ チーム、組織、目標、計画、ルール
リーダーシップ、コミュニケーションなどが必要
- ・ 「介護現場」をよくすることで
利用者はもちろん、職員も幸せになれる！
- ・ 人と人とお互いに学び合い
気持ちよく支え合える社会づくり

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

5

天晴れ介護サービス「ACGs」！

APPARE CARE SERVICE GOALS 2023

天晴れ介護サービス
介護現場をよくする21のテーマ



Colored by bridge link plus

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

6

5月より

月	内容	月	内容
5月	環境 接遇	11月	介護者支援 対人援助職の基本姿勢
6月	生活の安定・安全 喜び・楽しみ	12月	行政対応・地域分析 事業・サービス
7月	家族・地域 事業所の維持	1月	収支 人事・組織
8月	チームワーク 健康管理	2月	法令遵守・リスクマネジメント 指導・育成・管理
9月	ADLの自立・重度化予防 IADL支援	3月	事業計画・目標達成 まとめ
10月	認知症症状の緩和・進行予防 社会交流・意欲・楽しみ		

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

7

5月より

ACS 介護現場をよくするライブラリー

[ホーム](#)
[セミナー](#)
[お気に入り](#)
[閲覧履歴](#)

キーワードで探す

経営から現場まで！介護と介護事業を守り、よくする「教育インフラ」リーダーズ・プログラム

初めての方へ



2週間体験利用 受付中!
詳しくはこちら >

日々更新中！公式サイト・SNS



お知らせ [お知らせ一覧 >](#)

ご案内
1年分のセミナーカレンダーを作りました！
ライブラリーの画面に「1年分のセミナーカレンダー」を作りました！1年分なので、若干未定の内容もあったり、今後変更するところあるとは思いますが、1年の学習計画、研修計画にお役...

セミナー案内 [セミナーをもっと見る >](#)

<p>5月17日 (水) 10:00~12:00</p> <p>工藤ゆみさんの「コミュニケーションとストレスケア」コミュニケーション編第1...</p> <p>管理職 リーダー コミュニケーション 目標達成</p>	<p>5月17日 (水) 14:00~16:00</p> <p>介護事業の教育インフラ！リーダーズ・プログラム 会員限定グループコンサルティ...</p> <p>リーダーズ・プログラム</p>
---	--

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

8

業績がよい会社の特徴

■ある外部講師より 研修や会議を行う際……

1. 5分前には全員そろっている
2. 全員、座っている姿勢がよい
3. 館内の掲示物が曲がっていない

→これができている会社で、業績が悪い会社はない！？

環境整備のチェックリスト

環境のチェックリスト

1. 居室

●ベッド周辺

- ベッド欄が床に置かれていないか（適当に置かれていたら倒れて危ない場合あり）
- ベッド上にゴミやほこり、髪の毛が落ちていないか
- 布団はきれいに畳んであるか、床についでいないか
- ベッド脇で時間を確認したり、お茶を飲んだりできるような便利な配置か

●窓

- カーテンは汚れていないか（遮光カーテンはきちんとくたくつとあると感じがよい）
→中途半端にしてあるとだらしない印象を与える
- 換気ができる時には窓を開ける（後で閉めるのも忘れないように）
→雨の時には室内に降りこんでくるので、閉めておくようにする

●床

- ゴミが落ちていないか
- 水で濡れていないか
- 汚れがこびりついていないか
- 危険なものは落ちていないか

●その他

- 家族が見た時に不快に思うような感じではないか
- 物が整えて置いてあるか（きちんと整えて置けてきれいに見える）
- タンスの中は整理されているか
- なじみの物（長年愛用したタンス、湯のみ、時計や写真など）で生活感のあるしつらえとなっているか
- 冷暖房は適切か
- 汚れた衣類やタオルなどは洗濯しているか（そのままにしない）
- 洗濯されたものはきちんとしまっているか（タンスの上にごちゃごちゃ置いていないか）
- おむつなどはケースにしまっているか
- センサーマットや床に敷くベッドマットはきれいに置いてあるか
- コード類が束ねられているか
- 居室内にトイレや洗面所がある場合は、清潔かどうかを確認
- 特に重度の方については、居室の雰囲気やケアの質だと思われる
→花を飾る、好きな音楽を流すなどの工夫が大切

2. 台所

- 流しはきれいにしているか
- スポンジやまな板など、定期的に消毒されているか
- お盆、ワゴンなどもきれいに拭いてあるか
- 冷蔵庫の中は整理されているか
- 賞味期限切れのものはないか
- 見た目の清潔と整頓が保たれているか（すぐにぐちゃぐちゃになりがち）
- 床が濡れていないか、台所マットは清潔か
- ゴミ箱はきれいに拭いてあるか
- 利用者が自ら調理や後片付けができるような工夫がされているか

➤整理・整頓・清潔・清掃
といった5S

➤生活の場の環境整備
（快適、生活感、季節感）

➤事故予防・感染症予防

➤自立支援・意欲向上

➤効率性（利用者になづくために）

誰がやっても一定のクオリティに

環境のチェックリスト

✓	チェック項目
1. 居室	
● ベッド周辺	
<input type="checkbox"/>	ベッド柵が床に置かれていないか(適当に置かれていると倒れて危険)
<input type="checkbox"/>	ベッド上にゴミやほこり, 髪の毛が落ちていないか
<input type="checkbox"/>	布団はきれいに畳んであるか, 床についていないか
<input type="checkbox"/>	ベッド脇で時間を確認したり, お茶を飲んだりできるような便利な配置か
● 窓	
<input type="checkbox"/>	窓やカーテンは汚れていないか
<input type="checkbox"/>	遮光カーテンはきちんとくくってあるか(中途半端にしてあるとだらしない印象を与える)
<input type="checkbox"/>	換気ができる時には窓を開けているか
<input type="checkbox"/>	窓を開けたら後で閉めているか (雨の時には室内に降りこむ可能性があるため, 閉めて回るようにする)

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

13

誰がやっても一定のクオリティに

● 床	
<input type="checkbox"/>	ゴミが落ちていないか
<input type="checkbox"/>	水で濡れていないか
<input type="checkbox"/>	汚れがこびりついていないか
<input type="checkbox"/>	踏むと滑ったりつまずいたりする危険なものは落ちていないか
● その他	
<input type="checkbox"/>	家族が見た時に不快に思うような感じではないか
<input type="checkbox"/>	物が整えて置いてあるか(きちんと整えて置くだけできれいに見える)
<input type="checkbox"/>	タンスの中は整頓されているか
<input type="checkbox"/>	なじみの物(長年愛用したタンス, 湯飲み, 時計や写真など)で生活感のあるしつらえとなっているか
<input type="checkbox"/>	冷暖房は適切か
<input type="checkbox"/>	汚れた衣類やタオルなどは洗濯しているか(そのままにしない)
<input type="checkbox"/>	洗濯されたものはきちんとしまっているか(タンスの上にごちゃごちゃ置いていない)
<input type="checkbox"/>	おむつなどはケースにしまっているか
<input type="checkbox"/>	床に敷くマットはきれいに置いてあるか
<input type="checkbox"/>	コード類が束ねられているか
<input type="checkbox"/>	居室内のトイレや洗面所は, 清潔か
<input type="checkbox"/>	特に重度の方については, 花を飾る, 好きな音楽を流すなどの工夫をしているか (居室の雰囲気ケアの質と見られる)

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

14

誰がやっても一定のクオリティに

2. 台所

<input type="checkbox"/>	流しはきれいにしてあるか
<input type="checkbox"/>	スポンジやまな板などを定期的に消毒しているか
<input type="checkbox"/>	お盆、ワゴンなどはきれいに拭いてあるか
<input type="checkbox"/>	冷蔵庫の中は整頓されているか
<input type="checkbox"/>	賞味期限切れのものはないか
<input type="checkbox"/>	見た目の清潔と整頓が保たれているか(すぐにぐちゃぐちゃになりがち)
<input type="checkbox"/>	床が濡れていないか、台所マットは清潔か
<input type="checkbox"/>	ゴミ箱はきれいに拭いてあるか
<input type="checkbox"/>	利用者が自ら調理や後片付けができるような工夫がされているか

誰がやっても一定のクオリティに

3. リビング

<input type="checkbox"/>	テーブルはきれいに拭いてあるか
<input type="checkbox"/>	ゴミや食事の後の食べ物が落ちていないか(毎食後に確認)
<input type="checkbox"/>	季節感のあるしつらえ(花、掲示物など)になっているか
<input type="checkbox"/>	掲示物などが曲がっていないか、きっちり貼りつけてあるか
<input type="checkbox"/>	掲示物は見やすい位置か、見えるような配色か
<input type="checkbox"/>	古新聞などはきちんと片付けられているか
<input type="checkbox"/>	においはないか
<input type="checkbox"/>	冷暖房、換気、日当たりは良好か
<input type="checkbox"/>	窓はきれいか

誰がやっても一定のクオリティに

<input type="checkbox"/>	加湿器, エアコンなどは定期的に掃除されているか
<input type="checkbox"/>	いすだけでなく, ソファやたたみなど多様な居場所を設けているか
<input type="checkbox"/>	目隠しになるものを用意し, それぞれ落ち着けるような居場所の工夫がされているか
<input type="checkbox"/>	調理, 洗濯などに参加したくなるような配置 (物干しがリビングから見えるなど)になっているか
<input type="checkbox"/>	掃除道具などは利用者が自ら手にとって行えるような設置, 工夫がされているか
<input type="checkbox"/>	上着かけ, 靴の置き場所など, 利用者が自ら行えるような設置, 工夫がされているか
<input type="checkbox"/>	新聞, 雑誌が見やすい位置にあるか
<input type="checkbox"/>	時計, カレンダーが見やすい位置にあるか
<input type="checkbox"/>	テーブル, いすはぐらついていないか
<input type="checkbox"/>	車いすが通りやすいか, 動線に配慮しているか
<input type="checkbox"/>	置いてある車いすにはブレーキがかかっているか
<input type="checkbox"/>	手すりは使いやすいか(手すりの前に物を置かない, 洗濯物を干さない)
<input type="checkbox"/>	照明をつけて適切な明るさにしてあるか
<input type="checkbox"/>	床につまずいたり滑ったりするものが置かれていないか

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

17

誰がやっても一定のクオリティに

4. トイレ	
<input type="checkbox"/>	便座などに尿がついていないか
<input type="checkbox"/>	トイレトーパーやペーパータオル, 清拭タオルが補充されているか
<input type="checkbox"/>	においはないか
<input type="checkbox"/>	使用済みの清拭タオルはきちんと処理されているか
<input type="checkbox"/>	専用の雑巾などを使用し, その後漂白・消毒後, 洗濯する(使い捨てのクリーナーでもよい)
<input type="checkbox"/>	洗剤や消臭スプレーなど, 口に入れたら危険なものを出しっぱなしにせず収納しているか
5. 洗面所	
<input type="checkbox"/>	洗面所はきれいにしてあるか(顔を洗ったり歯を磨いたりする場所なので, 清潔を保つ)
<input type="checkbox"/>	鏡はきれいに拭かれているか
<input type="checkbox"/>	歯ブラシ, コップなどが清潔に保たれているか, 使いやすいように整頓してあるか

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

18

誰がやっても一定のクオリティに

6. 外回り

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> | ブランター、畑に定期的に水やりをしているか |
| <input type="checkbox"/> | 畑などの草取りをしているか |
| <input type="checkbox"/> | クモの巣などはないか |
| <input type="checkbox"/> | 落葉は落ちていないか |
| <input type="checkbox"/> | 捨てるものなどが置きっぱなしになっていないか |
| <input type="checkbox"/> | 余分なものが置かれていないか |

誰がやっても一定のクオリティに

7. 玄関

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 砂ぼこり、虫の死骸などは落ちていないか |
| <input type="checkbox"/> | 下駄箱は拭いてあるか |
| <input type="checkbox"/> | スリッパはきれいに並べてあるか、拭いてあるか |
| <input type="checkbox"/> | 歩いて通りやすくなっているか |
| <input type="checkbox"/> | 座って靴を履きかえやすくしてあるか |
| <input type="checkbox"/> | 自動ドアはきれいに拭いてあるか |
| <input type="checkbox"/> | 車いすなどはきちんと並べて置いてあるか |
| <input type="checkbox"/> | マット(カーペット)にほこりはついていないか |
| <input type="checkbox"/> | 玄関の外に花などが飾ってあるか(少し派手なくらいでちょうどよい) |
| <input type="checkbox"/> | 玄関のガラス扉のふちにほこりがたまっていないか |
| <input type="checkbox"/> | 照明が消えていないか |
| <input type="checkbox"/> | 面会簿などは書きやすくなっているか |
| <input type="checkbox"/> | 掲示物は見やすいか |
| <input type="checkbox"/> | 来客時のセンサーには反応できているか(そもそも鳴るか) |

誰がやっても一定のクオリティに

8. 事務室	
<input type="checkbox"/>	メモなどが散乱していないか
<input type="checkbox"/>	緊急時の対応などが見やすい位置に貼ってあるか
<input type="checkbox"/>	ファイルは整頓されているか
<input type="checkbox"/>	コード類が束ねられているか
<input type="checkbox"/>	ほこりがたまっていないか
<input type="checkbox"/>	個人情報が明らかに見やすい位置に掲示されていないか
〈その他〉	
<input type="checkbox"/>	車いすは清潔にしているか
<input type="checkbox"/>	定位置、定場所が決められており、守られているか
<input type="checkbox"/>	必要に応じてチェックリスト、細かいマニュアルになっているか
<input type="checkbox"/>	環境整備の担当者は決まっているか
<input type="checkbox"/>	毎日、毎週、毎月の掃除箇所とチェック体制が決まっているか

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

21

より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き） （介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン）

<p>①職場環境の整備</p> <p>取組前 → 取組後</p> 	<p>②業務の明確化と役割分担 (1)業務全体の流れを再構築</p> <p>介護職の業務が明確化されていない → 業務を明確化し、適切な役割分担を行いケアの質を向上</p> 	<p>②業務の明確化と役割分担 (2)テクノロジーの活用</p> <p>職員の心理的負担が大きい → 職員の心理的負担を軽減</p> 	<p>③手順書の作成</p> <p>職員によって異なる申し送り → 申し送りを標準化</p> 
<p>④記録・報告様式の工夫</p> <p>帳票に何度も転記 → タブレット端末やスマートフォンによるデータ入力（音声入力含む）とデータ共有</p> 	<p>⑤情報共有の工夫</p> <p>活動している職員に対してそれぞれ指示 → インカムを利用したタイムリーな情報共有</p> 	<p>⑥OJTの仕組みづくり</p> <p>職員の教え方にブレがある → 教育内容と指導方法を統一</p> 	<p>⑦理念・行動指針の徹底</p> <p>イレギュラーな事態が起こると職員が自身で判断できない → 組織の理念や行動指針に基づいた自律的な行動</p> 

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

22

事務所内も

- ・ 定位置、定場所
- ・ 「情報」を管理する場所（乱れていると不安に？）
→結構、見られている……
- ・ 一人しか分からない状態を避ける（コロナ禍の請求業務など）
- ・ 定期的なチェック（抜き打ちはNG?）
- ・ 施設内、施設間での「横展開」
- ・ 写真なども有効（適切、不適切）

ファイリング

■認定期間ごとにファイリング

1. 基本情報
2. 自宅の地図
3. 薬の情報
4. 長谷川式等
5. 認定調査票
6. 主治医意見書
7. 課題分析
8. サービス担当者会議の要点（照会）
9. 第1表～第3表
10. 利用票・利用票別表
11. モニタリングシート
12. 居宅介護支援経過
13. 居宅サービスの個別サービス計画、モニタリング等、住宅改修関係書類
14. 介護保険証、更新等申請書、医療保険証、障害者手帳等のコピー
15. 契約書、重要事項説明書（改定時含む）、個人情報同意書

※帳票類はできる限りネット上で共有できるものがよい

【居宅介護支援】個人ファイルチェック表

特定事業所加算() 特定事業所集中減算()

利用者氏名	〇〇 〇〇 様	初回利用年月日	平成30年4月1日	契約書・重説・個人情報	日付	H30.3.28	印	✓					
報酬改定の同意	—	利用サービス	訪問介護、訪問看護、通所介護、福祉用具貸与										
例外的な給付、特別な事情等													
年	H30												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要介護度	要介護2								要介護3				
更新理由 新規・更新・短期目標更新・区分変更・サービス変更等	新規						短期目標更新		3日入院 15日区分変更 22日退院	15日認定結果	通所介護 回数増 (週2→週3)		
基本情報	日付	3/28					9/25 (追記)		12/15	1/16 (追記)	2/10 (追記)		
課題分析	日付	3/28					9/25 (追記)		12/15	1/16 (追記)	2/10 (追記)		
居宅サービス計画書 第1表	日付	4/1					9/30		12/18	1/16	2/10		
居宅サービス計画書 第2表	日付	4/1					9/30		12/18	1/16	2/10		
居宅サービス計画書 第3表	日付	4/1					9/30		12/18	1/16	2/10		
サービス担当者会議	日付	4/1					9/30		12/18	1/16	2/10		
モニタリング	日付	4/26	5/25	6/28	7/26	8/28	9/30	10/30	11/28	12/26	1/29	2/27	3/25
支援経過	日付	4/1・26	5/25	6/28	7/26	8/28	9/30	10/30	11/28	12/18・26	1/29	2/10・27	3/25
利用票	日付	4/1・26	5/25	6/28	7/26	8/28	9/30	10/30	11/28	12/18・26	1/29	2/10・27	3/25
他事業所プラン・報告書(訪問介護)	有無	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
他事業所プラン・報告書(訪問看護)	有無	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
他事業所プラン・報告書(通所介護)	有無	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
他事業所プラン・報告書(福祉用具貸与)	有無	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
他事業所プラン・報告書()	有無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
初回加算	算定	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
入院情報連携加算(Ⅰ)	算定	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—
入院情報連携加算(Ⅱ)	算定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
退院・退所加算	算定	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—
緊急時等居宅カンファレンス加算	算定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(看護)小規模多機能連携加算	算定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ターミナルケアマネジメント加算	算定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
運営基準減算	算定												
	算定												
	算定												

「みんな違う」からスタート！

➤みんな違うことをまず認識する

➤みんな違うからこそ、共通の基準が大切
違うからこそ **はなしあう** ！

ラウンドの内容と重要性

- 介護現場の業務領域を見て回る
環境／接遇／生活の安定・安全／喜び・楽しみ／
家族・地域／事業所維持／チームワーク
- 利用者さん、職員に声をかけて回る
- 小さな異常、兆候に気付く（参考：割れ窓理論）
何事も現状把握から始まる、現状把握→目標・課題の設定
- ただし、粗探しではなく、頑張っているところも見つける
気にかける、その具体的な行動と頻度

割れ窓理論

■ 割れ窓理論（英: Broken Windows Theory）とは、

軽微な犯罪も徹底的に取り締まることで、凶悪犯罪を含めた犯罪を抑止できるとする環境犯罪学上の理論。 アメリカの犯罪学者ジョージ・ケリング（英語版）が考案した。

- ・ 「建物の窓が壊れているのを放置すると、誰も注意を払っていないという象徴になり、やがて他の窓もまもなく全て壊される」との考え方からこの名がある。ブロークン・ウィンドウ理論ともいう。

割れ窓理論

■治安が悪化するまでには次のような経過をたどる。

- ・建物の窓が壊れているのを放置すると、それが「誰も当該地域に対し関心を払っていない」というサインとなり、犯罪を起こしやすい環境を作り出す。
- ・ゴミのポイ捨てなどの軽犯罪が起きるようになる。
- ・住民のモラルが低下して、地域の振興、安全確保に協力しなくなる。それがさらに環境を悪化させる。
- ・凶悪犯罪を含めた犯罪が多発するようになる。

■したがって、治安を回復させるには、

- ・一見無害であったり、軽微な秩序違反行為でも取り締まる（ごみはきちんと分類して捨てるなど）。
- ・警察職員による徒歩パトロールや交通違反の取り締まりを強化する。地域社会は警察職員に協力し、秩序の維持に努力する。などを行えばよい。

割れ窓理論

■ニューヨーク市は1980年代アメリカ有数の犯罪多発都市だった
1994年に検事出身のルドルフ・ジュリアーニが 治安回復を公約に市長に当選すると「家族連れにも安心な街にする」と宣言し、治安対策に乗り出した。

■具体的には、警察に予算を重点配分

警察職員を5,000人増員して街頭パトロールを強化した他、落書き、未成年者の喫煙、無賃乗車、万引き、花火、爆竹、騒音、違法駐車など軽犯罪の徹底的な取り締まり、ジェイウォーク（歩行者の交通違反）やタクシーの交通違反、飲酒運転の厳罰化、路上屋台、ポルノショップの締め出し、ホームレスを路上から排除し、保護施設に強制収容して労働を強制する、などの施策を行った。

■そして就任から5年間

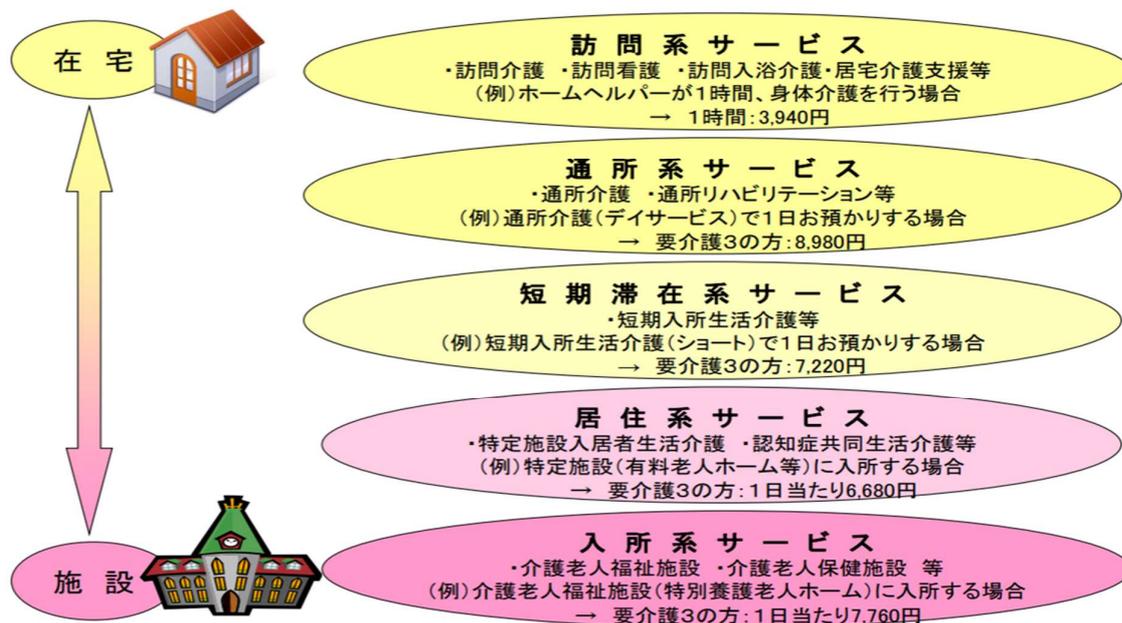
犯罪の認知件数は殺人が67.5%、強盗が 54.2%、暴行が27.4%減少し、治安が回復した。また、中心街も活気を取り戻し、住民や観光客が戻ってきた。

全体としてワンランク上のサービス！

- ・しつらえ、掲示物は、いいもの、上質なもの
→チープなものはNG（法人基準、マネジャーの感覚も…！）
- ・定期的なチェック、巡回（抜き打ちはNG？）
→施設内、施設間での「横展開」、好事例も
→写真なども有効（適切、不適切）
- ・掲示物：定期的な貼り替え、破れたり曲がったりしていないか
色合いや文字の大きさ、掲示する高さ

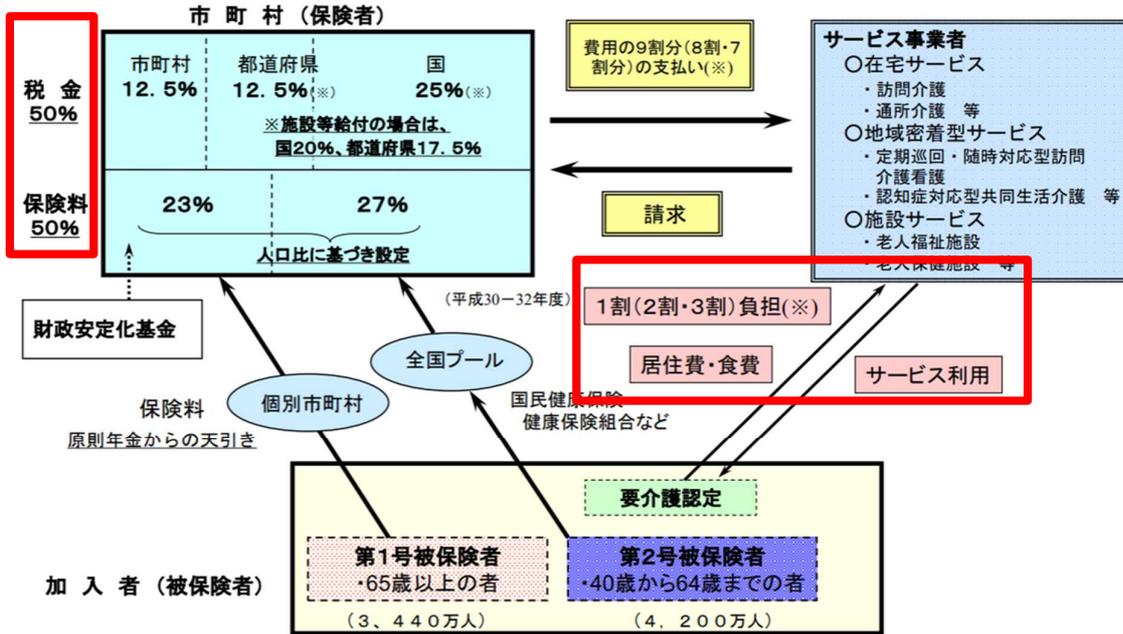
介護保険サービス

介護保険サービスの体系



介護保険の仕組み

介護保険制度の仕組み



(注) 第1号被保険者の数は、「平成28年度介護保険事業状況報告年報」によるものであり、平成28年度末現在の数である。
第2号被保険者の数は、社会保険診療報酬支払基金が介護給付費納付金額を確定するための医療保険者からの報告によるものであり、平成28年度内の月平均値である。

厚生労働省の資料

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

33

本日の内容

介護現場をよくする21のテーマ！ACGs2023

第2回：環境整備

介護現場をよくするハード、しつらえの工夫

利用者も家族も職員も「長居」したくなるホームを目指して

- ・業績がよい会社の特徴
- ・環境整備のチェックリスト
- ・ラウンドの重要性
- ・実際の事例
- ・PEAPから学ぶ

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

34

事業所評価（環境）



山口健太郎、三浦研、石井敏 編著「小規模多機能ホーム読本」（ミネルヴァ書房）より

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

37

事業所評価（環境）



山口健太郎、三浦研、石井敏 編著「小規模多機能ホーム読本」（ミネルヴァ書房）より

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

38

事業所評価（環境）

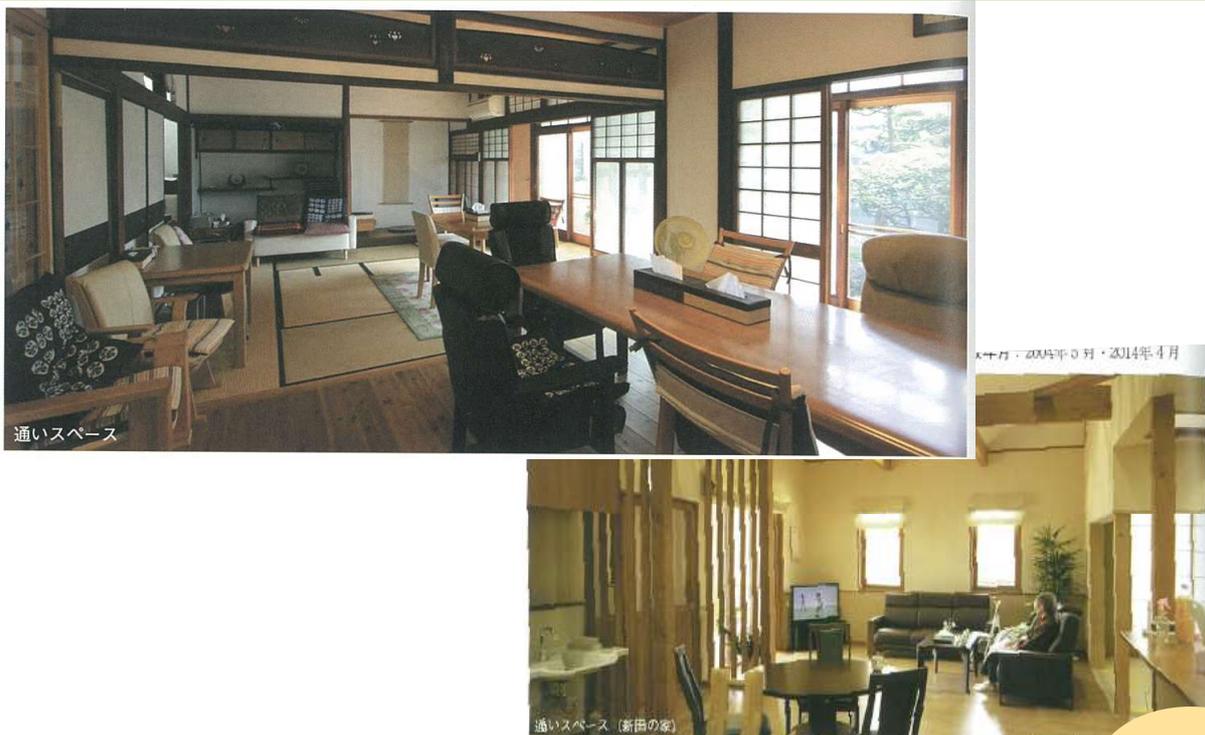


山口健太郎、三浦研、石井敏 編著「小規模多機能ホーム読本」（ミネルヴァ書房）より

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

39

事業所評価（環境）



山口健太郎、三浦研、石井敏 編著「小規模多機能ホーム読本」（ミネルヴァ書房）より

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

40

事業所評価（環境）



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

41

事業所評価（環境）



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

42

ハードについて



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

43

事業所評価（環境）



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

44

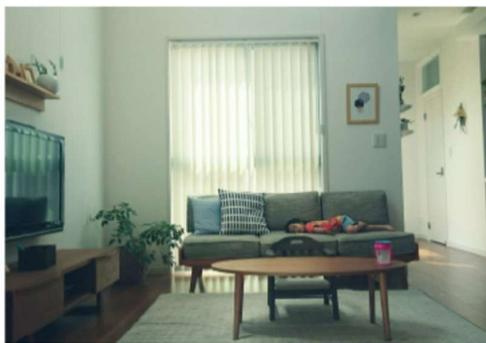
事業所評価（環境）



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

45

事業所評価（環境）



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

46

事業所評価（環境）



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

47

ハードについて



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

48

ハードについて



美里ヒルズオンライン見学会2021

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

49

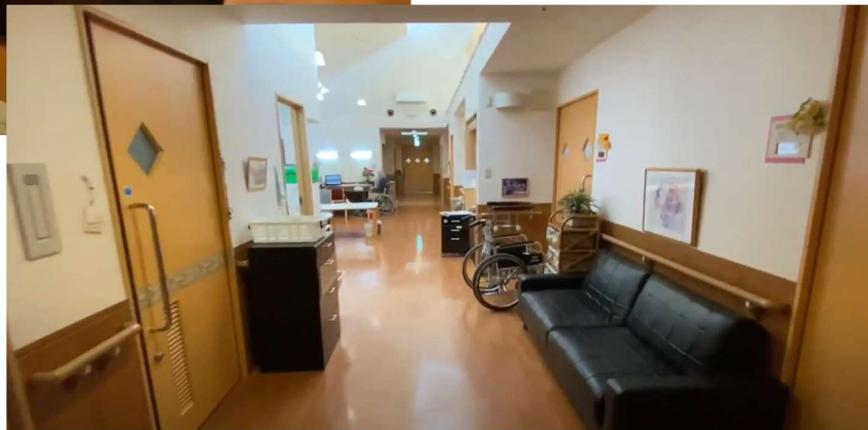
ハードについて



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

50

ハードについて



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

51

ハードについて



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

52

本日の内容

介護現場をよくする21のテーマ！ACGs2023

第2回：環境整備

介護現場をよくするハード、しつらえの工夫

利用者も家族も職員も「長居」したくなるホームを目指して

- ・業績がよい会社の特徴
- ・環境整備のチェックリスト
- ・ラウンドの重要性
- ・実際の事例
- ・PEAPから学ぶ

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

53

「PEAP」とは？

『認知症高齢者への環境支援のための指針』（PEAP 日本版3）は、施設に入所している認知症高齢者に対して、広い意味での環境支援を行うための指針です。

本指針は、大きく8つの次元により構成されています。8つの次元は、認知症の方への環境支援の柱（目標）となる項目です。また、それぞれの次元の下には、環境支援のポイントとなる中項目、さらに支援の具体例が記された小項目により構成されています。下の図に示すように、小項目は中項目を、中項目は次元(目標)を、それぞれ達成させるための手段や考え方になっています。

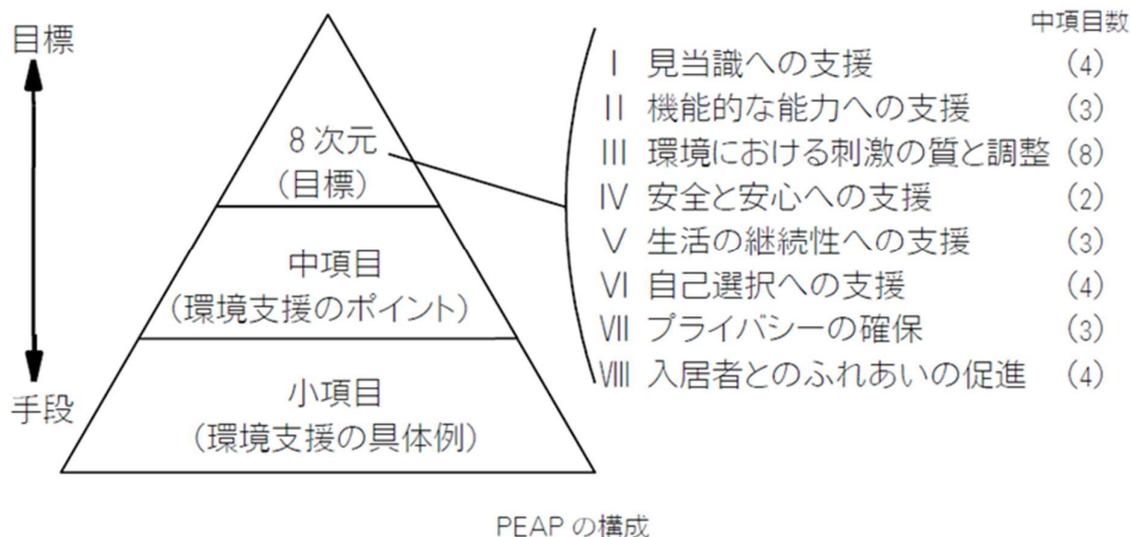
認知症高齢者への環境支援のための指針
PEAP 日本版 3

Copyright © 2002-2005 ケアと環境研究会
初版 2002年3月
改訂 2004年7月
改訂 2版 2004年8月
改訂 3版 2004年10月
改訂 4版 2005年9月

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

54

「PEAP」とは？



「PEAP」とは？

本指針は、1 から8 のどの次元から取り組んでも構いません。また、全ての次元に取り組めなくても構いません。施設の課題や状況に応じて、取り組みやすい次元からはじめてみるのがよいでしょう。

また、本指針はあくまでも高齢者施設における環境支援の方向性を示したものであり、書かれている具体的項目や内容について出来ているか出来ていないかを判断するような、いわゆるチェックリストではありません。本指針の考え方や内容をヒントにしなが、それぞれの施設の現状に合わせた環境支援の方法を考えてみましょう。

「PEAP」とは？

次元	次元の概念	中項目
1. 見当識への支援	時間・空間・そこで行われていることなどが、入居者にとり分かりやすくする環境支援	1) 環境における情報の活用 2) 時間・空間の認知に対する支援 3) 空間や居場所のわかりやすさ 4) 視界の確保
2. 機能的な能力への支援	入居者の日常生活動作や日常生活の自立を支え、さらに継続していくための環境支援	1) 入居者のセルフケアの自立能力を高めるための支援 2) 食事が自立できるための支援 3) 調理、洗濯、買い物など活動の支援
3. 環境における刺激の質と調整	入居者の適応や感性に望ましい良質の環境の刺激を提供する。および環境の刺激が混乱やストレスを招かないように調整する	A環境の刺激の質 a-1) 意味のある良質な音の提供 a-2) 視覚的な刺激による環境への適応 a-3) 香りによる感性への働きかけ a-4) 柔らかな素材の提供 B環境の刺激の調整 b-1) 生活の妨げとなるような騒音を調整 b-2) 適切な視覚的刺激的提供 b-3) 不快な臭いの調整 b-4) 床などの材質の変化による危険への配慮

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

57

「PEAP」とは？

4. 安全と安心への支援	入居者の安全を脅かすものを最小限に留めるとともに、入居者、スタッフ、家族の安心を最大限に高める環境支援	1) 入居者の見守りやすさ 2) 安全な日常生活の確保
5. 生活の継続性への支援	慣れ親しんだ環境とライフスタイルを継続するために、個人的なものの所有や家庭的な環境づくりの2つの側面から支援する	1) 慣れ親しんだライフスタイルの継続への支援 2) その人らしさの表現 3) 家庭的な環境づくり
6. 自己選択への支援	入居者の自己選択が図られるような環境支援	1) 入居者への柔軟な対応 2) 空間や居場所の選択 3) いすや多くの小物の存在 4) 居室での選択の余地
7. プライバシーの確保	入居者のニーズに対応して、ひとりになったり、他との交流が選択的に図れるような環境支援	1) プライバシーに関する施設の方針 2) 居室におけるプライバシーの確保 3) プライバシー確保のための空間の選択
8. ふれあいの促進	入居者の社会的接触と相互交流の促進を図る環境支援。	1) ふれあいを引き出す空間の提供 2) ふれあいを促進する家具やその配置 3) ふれあいのきっかけとなる小道具の提供 4) 社会生活を支える

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

58

「PEAP」とは？

I 見当識への支援

1) 環境における情報の活用

入居者の見当識を効果的に支援するために、目印や、図柄、色などを活用する

①居室やトイレなどの位置を分かりやすいように、サインや絵などの目印（ユニットの名前や表札、図柄など）を、センスよく用いる。

2) 時間・空間の認知に対する支援

毎日の生活の安定を図るために、時間、空間、出来事に対する見当識を効果的に支援する

①時間経過をわかるように、カレンダーや時計を飾るなどの工夫を行う。

②ふつうの家庭生活でみられるような日課を設けて、時間的な感覚の維持を図る。

③食事の場などを分かりやすくするために、家具やものなどにより、空間の雰囲気づくりをする（食器棚など）。

④時間の流れがわかるように、調理や洗濯などに関わる行為を、入居者の目に入るところで行う（野菜の皮むき、盛りつけなど）。

「PEAP」とは？

3) 空間や居場所のわかりやすさ

通常の施設環境は画一的になりやすいが、認知症のある入居者にとって、自分がどこにいるかが分かりやすい空間への配慮をする

①生活単位を小規模化して、空間を把握しやすくする。

②ユニットや廊下での居場所が分かるように、目印や飾りを用いる。

③自分の部屋を識別しやすいように、インテリア（ベッドカバー、カーテン、壁の色など）に変化をつける。

4) 視界の確保

生活に必要な場所が、視界に入るように配慮することにより、入居者の安定を図る

①頻繁に出入りする場所や日中居住者が過ごしている場所が、居室から見渡しやすくなっている。

②食堂など主要な場所から、外の景色がながめられる。

「PEAP」とは？

II 機能的な能力への支援

1) セルフケアにおいて、入居者の自立能力を高めるための支援

入居者の排泄、入浴、整容、衣服の着脱動作について、可能な限り入居者の自立能力を高める支援を行う

- ①各居室にトイレと洗面を設置することが望ましい。
- ②入居者にとってトイレは、容易に見つけやすい位置にある。
- ③トイレには両側に手すりを設ける（必要のない場合には動かせる、可動性のあるもの）
- ④浴室では、洗面器等を置く台や手すり等が入居者に使いやすいようにする。
- ⑤蛇口が分かりやすく、また使いやすいものとする。
- ⑥きれいな手拭きを入居者が見やすく、利用しやすい位置に置く。
- ⑦シャワーや入浴設備が、入居者のユニットごとにある。
- ⑧居室や洗面所の見やすい位置に、鏡がある。
- ⑨個人用の化粧品や洗面用品を所有し、使いやすい場所に置くことができる。
- ⑩十分な洋服ダンスがあり、それらは入居者が使いやすい。

「PEAP」とは？

2) 食事が自立できるための支援

食事は重要な日課であるが、認知症のある入居者には困難を伴う場合もある。しかし、意欲を持って食事ができるような環境支援をおこなうことが必要である

- ①食事の意欲をもてるような、瀬戸物などのふつうの食器を使用する。
- ②食事のための適切な補助具（大きな取っ手の食器、滑り止めのマットなど）を使用する。
- ③入居者が最大限に自立して食事ができる方法を採用する（車いすの場合にはテーブルの高さの調整など）。
- ④入居者が食べたいと思うような、食事の雰囲気作りの工夫をする。

「PEAP」とは？

3) 調理、洗濯、買い物などの活動の支援

調理や洗濯、買い物などの日常生活において必要な行動を、できるだけ自立してできるように環境支援を行う

- ①入居者が容易に近づきやすい場所に、使いやすい掃除道具（ほうき、ちりとりなど）を用意する。
- ②入居者が使いやすい洗濯機、物干場、洗濯物をたたむ場を用意する。
- ③入居者が使用できる電話を準備する。
- ④高齢者用に配慮した台所を用意し、入居者が腰掛けても使えるように配慮する。
- ⑤高さの調節可能なテーブルを活動空間に準備する。
- ⑥入居者がさまざまな活動のための道具が入った収納場所に行って、使うことが出来る。
- ⑦施設内でお金を使う場所（喫茶店や売店など）を用意し、それらの店に車いすでも行くことが出来る。

「PEAP」とは？

III 環境における刺激の質と調整 ～環境における刺激の質～

1) 意味のある良質な音の提供

入居者にとって意味のある、良質な音を生活に取り入れる

- ①ユニットにおける音は、入居者にとって意味のあるものになっている（会話、食事の準備、その場に適した音楽や活動）。

2) 視覚的刺激による環境への適応

不快な刺激を取り除くだけでなく、視覚的刺激により環境への適応を引き出す

- ①昼夜の時間変化が分かるように、照明は意図的に昼間は明るく、夜は抑える。
- ②入居者に役立つサイン（見当識をもたらすサイン）が、ユニット内の適切な場所にある。
- ③入居者になじみのある時代や文化を反映した絵画や装飾品を取り入れた環境づくりをする。
- ④色調、家具、床や壁など施設全体のインテリアは、調和がとれ、入居者に違和感をもたせない。

「PEAP」とは？

3) 香りによる感性への働きかけ

嗅覚の刺激を取り入れることにより、入居者の感性に働きかける

①ユニットには、消毒や清掃などの施設的な臭いではなく、生活を感じさせる香り（新鮮な花や食物など）を採り入れる。

4) 柔らかな素材の提供

施設で使用されやすい硬い素材よりも、家庭で用いられる柔らかな素材を使用する

①ユニットには、画一的でないさまざまな手触りのものを用意する（畳、障子、柔らかな布でつくられたもの等）。

②ユニットの家具、内装の表面は、木や布などの柔らかい素材を選ぶ。

「PEAP」とは？

～環境における刺激の調整～

1) 生活の妨げとなるような騒音を調整

音刺激の影響をふるい分けること難しく、ここでは入居者の落ち着いた生活の妨げとなる騒音について注目する

①放送設備、テレビ、廊下に行くカートの音量を、低いレベルに抑える。

②ナースコールやアラームの音が、ユニットに鳴り響かないような工夫をする。

③大声を張り上げたりする入居者に、スタッフが対応する。

④スタッフの大声による呼びかけなどが、ユニットの騒音レベルをあげてないようにする。

2) 適切な視覚的刺激の提供

人は視覚的刺激によっても周りの世界を把握している。したがって、混乱を与えない、適切な視覚的刺激を提供する

①入居者に混乱をもたらす、照明や日差しによるぎらぎらとした反射がないように配慮する。

②居室の窓は、カーテンなどにより日差しの調整が容易にできるようにする。

③過剰な壁の飾り（絵画、写真、タペストリー等）や床の模様が、入居者の注意の妨げとならないようにする。

「PEAP」とは？

3) 不快な臭いの調整

環境の中に「不快な」臭いが、長時間にわたり広く存在しないように調整する

- ①排泄などの臭いが、ユニット全体に広がらないような工夫をする。
- ②食事の臭いが、ユニット全体にこもらないように工夫する。

4) 床などの材質の変化による危険への配慮

床などの材質などを変える場合には、危険への配慮が必要である

- ①床の表面を、カーペットからビニール等へと、急に変わるような場所を作らない。

「PEAP」とは？

IV 安全と安心への支援

1) 入居者の見守りのしやすさ

認知症のある入居者にとって多くの潜在的な危険が存在するので、スタッフが自然な方法で入居者の状況や活動を容易に見守りやすくする。加えて、入居者が不安や孤立感を感じたときに、容易にスタッフをさがすことができる

- ①スタッフが、容易に入居者の居場所を確認できたり、居場所を予感しやすい建物の作りとなっている。
- ②外部につながる出入り口は、目立たない方法で見守られている（騒々しいアラームや驚かすような光を使わない）。
- ③ユニットを歩き回る入居者を、見守ることが出来る程度のスタッフが配置されている。

「PEAP」とは？

2) 安全な日常生活の確保

認知症のある入居者は認知障害と同時に身体的な能力低下も経験している。それらを補い、残存機能の保持を支援する環境条件を整える

- ①入居者の移動や移乗を支援するための手すりが、廊下、トイレ、浴室、居室などにある。
- ②移動の妨げとなるカートやいすなどを、廊下に置いたままにしない。
- ③床の材質は、滑りにくく、転倒してもけがをしにくいものとする。
- ④家具やカウンターの角は、ぶつかってもけがをしにくいように縁が丸いものとする。
- ⑤安全に介護ができるように、トイレや浴室には十分なスペースをとる。
- ⑥ベッドから転落する入居者には、ベッドを低くしたり、床にマットや畳を敷くなどの工夫をする。
- ⑦入居者の自立機能を支援するようなもの（台所用品等）を取り入れながら、潜在的な危険を防ぐ工夫を行う。

「PEAP」とは？

V 生活の継続性への支援

1) 慣れ親しんだ行動様式とライフスタイルの継続への支援

入居者ができる限り慣れ親しんだ活動に参加し続けることができるようにする。また、入居者の能力を最大限引き出すように、環境と施設方針の両側面から支援をする

- ①入居者自身やあるいは家族から、好みや生活様式などの情報を十分に把握する。
- ②入居者が利用できる台所がユニット内にある（活動プログラムとして台所が使われるのみでなく、日常の生活の中で調理に参加したい入居者が使えることが望ましい）。
- ③入居者に応じて、食事の時間に融通を持たせることが出来る。
- ④入居者に応じて、入浴方法（家庭的な浴槽など）や時間、温度などに融通が利く。
- ⑤入居者が自ら部屋の掃除や洗濯などが出来るように、道具や機器を用意したりするなどの支援を行う。
- ⑥園芸などの趣味を楽しむ場所や機会を提供する。
- ⑦入居者が以前行っていた仕事などに応じて役割を担えるようにする。
- ⑧世話をする役割を継続できる機会を設ける（例えばペットや植物の世話など）。

「PEAP」とは？

2) その人らしさの表現

個々人のライフスタイルの反映である家具や持ちものなどを自宅から持ち込むことを促し、自己実現を可能にする

- ①使い慣れた家具の持ち込みを促す（いす、タンス、テーブル、座布団など）。
- ②居室内に個人的なものを置いたり、写真を棚、出窓など飾る場所を用意する。

「PEAP」とは？

3) 家庭的な環境づくり

入居者自身の家具や装飾品に加えて、施設的でない家庭的な雰囲気的环境づくりに多様な手段で取り組む

- ①共用空間には入居者になじみのある文化や時代を反映した絵画や写真を飾るなどし、親しみやすい環境づくりをする。
- ②同じタイプの家具を画一的に置くのではなく、多様な家具を選んで家庭的な環境づくりをする。
- ③ビニールやスチール製の家具や内装、冷たく堅い感じの床や壁、むき出しの照明などの施設的な印象を与えるものを置かない。
- ④ユニットの目のつく場所に施設的な機器（カートやスチールの棚など）を置いたまみにしない。
- ⑤ケアスタッフの事務室は、病院のナースステーションのようでなく、家庭的な雰囲気を壊さないようなものにする。
- ⑥スタッフも画一的なユニフォームではなく、家庭で着るような衣服を着用する。

「PEAP」とは？

VI 自己選択への支援

1) 入居者への柔軟な対応

入居者が居場所や空間を選択することや入居者の行動に対して柔軟に対応する

- ①入居者がさまざまな活動への参加を選択出来るように配慮する（例えばスケジュール表を分かりやすい場所に掲示するなど）。
- ②就寝、食事、入浴時間などを入居者の状況に対応させる融通性がある。
- ③入居者が個室か相部屋、または同室者を選ぶ融通性がある。
- ④食事の献立に対して意見を出したり選択することが出来る。
- ⑤入居者の行動を制限する手段として、薬物、ベルト、いすの傾きなどを使用しない。

2) 空間や居場所の選択

環境の制限がされがちな施設においても、空間や居場所の選択を可能にする

- ①入居者が居場所を選択できるように、複数の共用スペースや屋外空間がある。
- ②食堂、デイルーム、中庭などへは、自由に出入りが出来る。
- ③ユニットからの出入りについては、制限するのではなく、見守りなどの工夫で対応する。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

73

「PEAP」とは？

3) いすや多くの小道具の存在

座る場所、関わりを持つ人や物、行われる活動のオプションを多く用意して選択の機会の増加を図る

- ①利用者の興味や個性に応じて選択出来る様々な小道具を用意する。
- ②多数が集まれる空間、小グループの空間、一人になれる空間など各所に、十分な数のいすを配置する。

4) 居室での選択の余地

居室環境について、入居者自身が選択する余地を用意する

- ①居室のカーテン、空気、明るさなどを入居者も容易に調整することができる。
- ②入居者の希望により、居室の家具配置や衣服の入れ替えすることができる。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

74

「PEAP」とは？

VII プライバシーの確保

1) プライバシーに関する施設の方針

施設環境におけるプライバシーの確保には、スタッフの努力だけではなく施設全体の方針が大きく影響する。プライバシーの確保の考え方には、入居者のニーズに対応して、一人になれるだけでなく、他との交流が選択的に図れることも含まれる

- ①居室に入る際に、ノックや声かけをする。
- ②入居者は、部屋のドアを閉めることは自由である。
- ③他の入居者との交流を図るために、一日のうち何度か居室から出るように働きかけている。
- ④入浴、排泄、衣服着脱に関して、羞恥心に配慮した方針がある。

「PEAP」とは？

2) 居室におけるプライバシーの確保

プライベートな領域の中でもとりわけ居室は重要であり、プライバシーの確保と他との交流について、入居者が調整を図れることができる

- ①希望する入居者に対し、十分な数の個室がある。
- ②共用の居室の場合に、従来よくみられるカーテン以外に、プライバシーを確保するために効果的な手段が採られている（たとえば、家具やついたて等）。
- ③トイレを、居室ごとに設ける。

3) プライバシーの確保のための空間の選択

入居者が居室などにおいて十分なプライバシーが確保できないときには、他の場所でそれを補うことができる

- ①1人で、または2～3人で利用できる様々な小規模ルームやこぢんまりした空間がある。
- ②入居者には共用居室や大きな公共空間以外の居場所がある。
- ③スタッフとプライベートな話をする場がある。
- ④家族が来訪したときに、居室以外で一緒に過ごせる部屋がある。

「PEAP」とは？

VIII 入居者とのふれあいの促進

1) ふれあいを引き出す空間の提供

他の入居者とのふれあいの場を選択できるように用意する

- ①小グループ（1 2 人以下を目安）で利用できる、居間のような共用空間を用意する。
- ②さまざまな規模のふれあいの場を用意する（多くのいすが配置された部屋、小グループ用部屋、2～3人用のスペースなど）。
- ③玄関や通路など人の行き来するところに、通る人をながめたり、声をかけたり自然にふれあえる場を設ける。

「PEAP」とは？

2) ふれあいを促進する家具やその配置

入居者のふれあいを促進するような家具を用意したり、その配置を工夫する

- ①居室以外の主要な生活エリアに、十分な数のいすを配置する。
- ②いすの配置は、部屋の壁に沿って置くのではなく、ふれあいが生じやすい工夫をする。
- ③食卓は6人以上のものではなく、少人数で使用できるものを用意する。
- ④画一的な大きさではなく、さまざまなサイズの食卓を用意する。
- ⑤仕切りや家具により区切ることにより、こぢんまりとしていて落ち着いたスペースを用意する。
- ⑥ちゃぶ台やこたつなどのある、茶の間の雰囲気を持つ和室を用意する。

3) ふれあいのきっかけとなる小道具の提供

ふれあいのきっかけとなる、入居者の関心を引く小道具を用意する

- ①ユニットに、入居者の関心を引き、ふれあいのきっかけとなる小道具を用意する（季節の行事や季節感に関わるもの、昔の生活を思い出させるもの等）。

「PEAP」とは？

4) 社会生活を支える

入居者の社会生活を支えるには、ふれあいの促進とともに一人である場を確保することも大切である

- ①入居者同士の関係づくりに、配慮をする。
- ②地域へ出て行き、施設以外の人とふれあえる機会づくりをする。
- ③ふれあいの場面とともに、一人になれる時間も配慮する。

具体的な進め方（例）

項目	内容	備考
1. 認知症ケアと環境への気付きを高める	考えるきっかけを持つ	研修、勉強会など
2. 問題の発見、共有し目標を決める	写真にとって残していく	問題の共有 利用者・家族・職員などそれぞれの立場から見る
3. 環境作りの計画を立てる	利用者の視点で生活をイメージする	具体的な利用方法を考える アイデアを出す
4. 計画を実施する（やってみる）	できることからやってみる	大きな予算が必要なものは別に取り組む
5. 新しい環境を暮らしとケアに活かす	ケアプランとの連動性 日々のメンテナンス	微調整を繰り返す
6. 振り返りをする	改善効果（利用者・職員）を確認	利用者の観察 施設間評価・報告会

本日の内容

介護現場をよくする21のテーマ！ACGs2023

第2回：環境整備

介護現場をよくするハード、しつらえの工夫

利用者も家族も職員も「長居」したくなるホームを目指して

- ・業績がよい会社の特徴
- ・環境整備のチェックリスト
- ・ラウンドの重要性
- ・実際の事例
- ・PEAPから学ぶ

次回5月より

月	内容	月	内容
5月	環境 接遇	11月	介護者支援 対人援助職の基本姿勢
6月	生活の安定・安全 喜び・楽しみ	12月	行政対応・地域分析 事業・サービス
7月	家族・地域 事業所の維持	1月	収支 人事・組織
8月	チームワーク 健康管理	2月	法令遵守・リスクマネジメント 指導・育成・管理
9月	ADLの自立・重度化予防 IADL支援	3月	事業計画・目標達成 まとめ
10月	認知症症状の緩和・進行予防 社会交流・意欲・楽しみ		

継続的な学習の重要性！

■成長のために

- ・ **ギャップ**を埋める & **強み**を活かす
- ・ **時間とエネルギー**をかけた分だけ成長する
- ・ **よい情報を浴び続ける**、そういう**環境**に身を置く
- ・ **成長は螺旋階段**、その時々で**受け取るものも違う**
- ・ **ミラーニューロン効果**（思考・行動に影響、**時間差で効果!**）、**感度**が高まる
- ・ **知れば知るほど分からないこと**が増える、**知りたいこと**が増える
- ・ **学びが理想**をつくり、**理想が学び**を生む

■メンテナンスのために

- ・ いつも良い状態を保てるとは限らない……。
- ・ **定期的に軌道修正**させてくれる、**人・環境の存在**が必要

■自分自身、そしてチームワーク

- ・ **シャンパンタワー**：自分が満ち足りて、人を満たすことができる
- ・ **研修はチームで参加**、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

83

継続的な学習の機会を持つために



影響力・インパクト



回数・頻度



習慣化 = インパクト × 回数

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

84

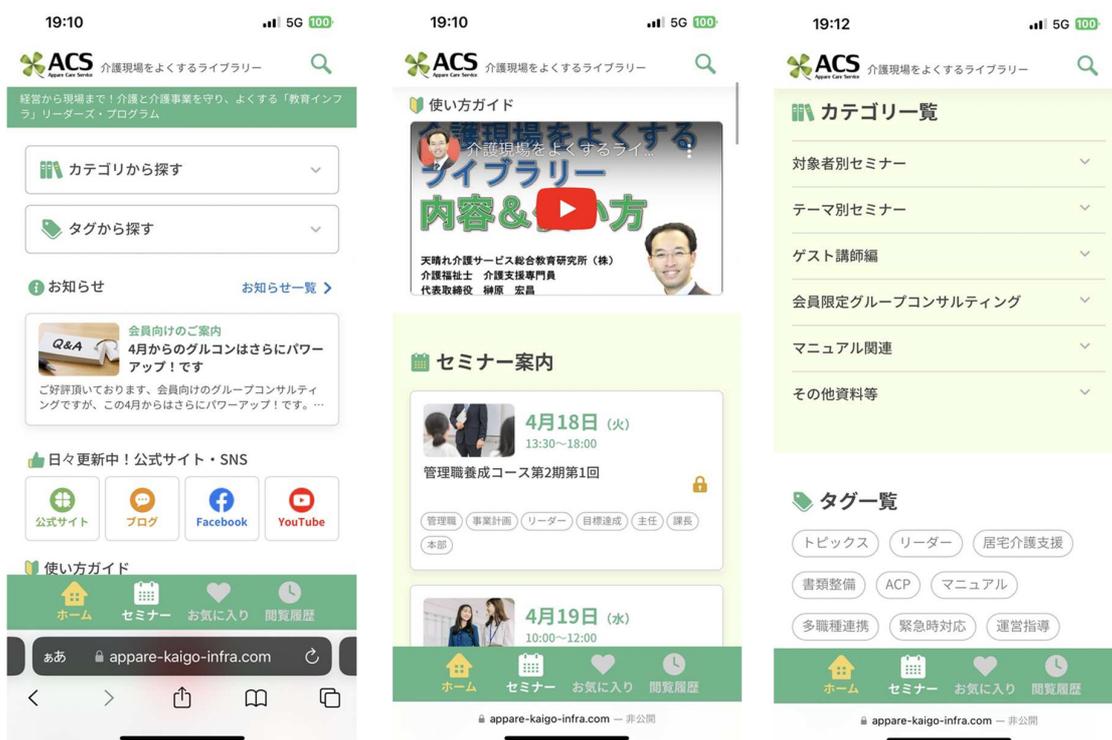
研修・動画の内容

- 経営者・経営幹部向けセミナー（20時間相当 + α ）
- 管理職向けセミナー（20時間相当 + α ）
- ケアマネジャー向けセミナー（10時間相当 + α ）
- 全職員向け法定研修シリーズ（10時間相当 + α ）
- 新人職員向けセミナー（10時間相当）
- 赤本・青本・緑本通読セミナー（20時間相当 + α ）
- 1日集中講座シリーズ！（30時間相当）
（稼働率、人材確保、管理職養成、実地指導、ケアマネジメント等）
- 令和3年度介護報酬改定セミナー（10時間相当）
- リーダー、相談援助職のための説明力向上講座（5時間相当）
- 最新情報&トピックス「マンスリー・ジャーナル」（20時間相当）
- 工藤ゆみさんのコミュニケーション力向上講座（20時間相当）
- 進絵美さんの面談スキル向上講座（5時間相当）
- 吉村NSの看護セミナー（5時間相当）
- ケアマネジャー受験対策セミナー（15時間相当）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

85

介護現場をよくするライブラリー



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

86

週刊メールマガジン 介護現場をよくする研究&活動通信

介護現場をよくする研究&活動 通信 バックナンバー

[バックナンバー一覧へ戻る](#)

日時	タイトル
2020/11/19(木) 09:30	【報酬改定の議論大詰め！ポイント総整理】介護現場をよくする研究&活動 通信 第123号

■ ■ ————— ■ ■ ■
 【報酬改定の議論大詰め！ポイント総整理】
 介護現場をよくする研究&活動 通信 第123号
<http://www.appare-kaigo.com/>
 2020.11.19
 天晴れ介護サービス総合教育研究所 榎原宏昌
 □ ■ □ ————— □ ■ □

0=====

◆目次◆

1. 今週の活動と気付き
 2. 注目のニュース
 3. セミナー・イベント情報
 4. zoomセミナー情報
 5. 天晴れライブラリー・名言のご紹介
- 編集後記

➤ 毎週木曜日のメルマガ「介護現場をよくする研究&活動通信」
ホームページより（天晴れ介護、で検索）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

87

Facebookライブ！／YouTube動画



天晴れ介護サービス総合教育研究所
チャンネル登録者数 996人

チャンネルをカスタマイズ 動画を管理

ホーム 動画 再生リスト コミュニティ チャンネル 概要

アップロード動画 ▶ すべて再生

<p>よく頂くご質問シリーズ！ Qリーダーは率先して動かないといけないか？ Q上司がいない所での態度が悪い.....</p> <p>天晴れ介護サービス総合教育研究所 (株) 介護福祉士 介護支援専門員 30:26</p> <p>よく頂くご質問シリーズ① (介護現場をよくする不定...)</p> <p>42 回視聴・1 日前</p>	<p>6月セミナー総集編！ 訪問介護の赤本・青本 訪問看護による予防 強みを見つける質問 自己&他者理解・目標</p> <p>天晴れ介護サービス総合教育研究所 (株) 介護福祉士 介護支援専門員 代表取締役 榎原 宏昌 35:55</p> <p>6月開催セミナー総集編！ (介護現場をよくする不定...)</p> <p>74 回視聴・10 日前</p>	<p>BCP作成の今 皆さんの所は？</p> <p>天晴れ介護サービス総合教育研究所 (株) 介護福祉士 介護支援専門員 代表取締役 榎原 宏昌 25:20</p> <p>BCP作成の今～皆さんの所 は？～(介護現場をよくす...)</p> <p>119 回視聴・2 週間前</p>	<p>ざっくり加算要件！ 「居宅介護支援」編</p> <p>天晴れ介護サービス総合教育研究所 (株) 介護福祉士 介護支援専門員 代表取締役 榎原 宏昌 34:06</p> <p>ざっくり加算要件！居宅介護 支援編 (介護現場をよくす...)</p> <p>129 回視聴・3 週間前</p>	<p>ざっくり運営基準！ 「居宅介護支援」編</p> <p>天晴れ介護サービス総合教育研究所 (株) 介護福祉士 介護支援専門員 代表取締役 榎原 宏昌 33:50</p> <p>ざっくり運営基準！居宅介護 支援編 (介護現場をよくす...)</p> <p>197 回視聴・1 か月前</p>
---	---	--	---	---

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

88

LINE公式アカウント始めました！

■対象者

- ・介護事業の永続的な成功を目指す経営者・経営幹部の方
- ・独立開業や管理職・専門職・講師業等でスキルアップしたい個人の方

※LINE登録特典動画「経営から現場まで！介護事業の永続的な成功を実現する3つの取り組み」を現在制作中（＾＾）



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

89

継続的な学習の重要性！

致知 祝・WBC優勝

野球日本代表侍ジャパン監督

栗山英樹

月刊『致知』より



僕たち指導者は
勉強が欠かせない。
選手たちよりも十倍は
勉強しないと
彼らの成長に追いつかないし、
人間的に成長させて
あげることができない

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

90

無料！5日連続メール&動画セミナー

介護現場をよくするzoomセミナー

5月20日（土）まで
限定公開！

介護と介護事業を守り、よくする！ 「継続的な学習」の重要性と その効果を考える

■継続的な学習がもたらすものとは？

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社
代表取締役 榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

1

91

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

介護現場をよくする21のテーマ「ACGs」

ご清聴ありがとうございました！



天晴れ介護サービス総合教育研究所

代表 榊原宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

92